

平成25年度事務事業評価調書

整理番号	24	枝番	5
評価担当課	都市整備課維持係		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	道路河川愛護対策事業			
総合計画の位置づけ	有 無	基本目標	3	自然と環境にやさしく快適で安全なまちづくり
		主要施策	12	道路の整備
		基本事業	4	市道の維持事業
		実施計画事業	4	市道路肩草刈事業

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	道路・河川の良好な環境維持のため、地域住民が組織する愛護組織が草刈、清掃作業を通して、意識高揚を図ることを目的に毎年実施している。			
対象(何を又は誰を)	市民			
手段＝活動(仕事) (どのような方法で)	地域住民による道路・河川の草刈及び清掃作業			
意図(どのような成果を期待しているか)	地域住民の道路・河川に対する意識高揚を図り、行政が進めている草刈委託のコスト削減が期待できる。			
事業実施主体	各愛護団体			
事業実施方法	直営	一部委託	全部委託	補助等 請負 その他(報償費)
事業実施期間	始期	H24年度	終期設定	有 (終期 28年度) ・ 無
根拠法令・条例等				

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容	単位		H22	H23	H24	H25見込	目標年度 (28年度)	
				活動指標	1	道路河川愛護作業延長 道路河川愛護作業実績延長	km	目標 1,100 実績 1,150	1,100 1,161
成果指標	1	道路河川愛護作業率	%	目標	100	100	100	100	
		道路河川愛護作業実績率		実績	104.5	105.5	99.5	100.0	
	2		目標						
			実績						

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H22決算	H23決算	H24決算	H25予算	平成24年度の事業費内訳	
事業費	2,699	2,703	2,513	2,575	名寄地区	1,100,000
					風連地区	1,412,424
					計	2,512,424
	2,699	2,703	2,513	2,575		
人件費	1,652	1,671	1,657	1,657		
	平均給与額	6,608	6,683	6,629	6,629	
	担当職員数	0.25	0.25	0.25	0.25	
総事業費	4,351	4,374	4,170	4,232		
対前年比(%)	—	101	95	101	コストの算出方法	
事業コスト	活動指標1	3.8	3.8	3.8	総事業費(千円)/作業実績延長	
	活動指標2					
	活動指標3					

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	特になし
改善点	指摘事項 <input checked="" type="radio"/> 有 () <input type="radio"/> 無 高齢化が進み作業をする担い手が減少していて、今後の対策を協議している。

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性 3 市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？	b	多くの愛護団体により、よりよい道路・河川環境の維持が見込まれる。
有効性 4 目的を達成するための方法として有効か？	a	道路・河川環境の維持の目的では、各地域の自助共助が図られるので有効である。
効率性 3 経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？	b	経費以上の効果が現在進められている事業であり、コスト削減よりコストの見直しをするべきである。
公平性 2 受益者負担は適正か、受益者に偏りがはないか？	c	各団体の作業内容により、事業費を分配しているので、公平性に対してはないが、名寄地区と風連地区での公平性を協議進行中である。
達成度 3 活動指標、成果指標の達成度は？	b	現状において、目標を概ね達成しているが、今後は高齢化などで作業が減少傾向になって行くと考えられる。

5 1次評価

評価結果	理由	
B	高齢化に伴い作業の担い手が減少しつつある。また、名寄地区と風連地区とで作業方法の違いなどがあり、今後内容の見直しを進める。	
A:現状のまま継続 B:進め方を改善 C:規模・内容を見直し D:抜本的な見直し(廃止・縮小)	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	
	高齢化による社会現象のため、担い手がいない団体については道路・河川環境の維持が不可能である。事業費の増額が必要とされる。	

6 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等

7 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
B	各団体の協力により、道路・河川環境が良好に保たれており、今後も継続が必要。名寄地区と風連地区の公平性について検討を進めている。